

## - DiagPrintout 取扱説明書 -

### 診断レポート作成の流れ

**1.** ご使用される診断機の時計設定を「設定」から確認します。

**2.** 事前にパソコンへ仮想 PDF プリンターをインストールします。

※Windows 10 からは仮想 PDF プリンター「Microsoft Print to PDF」が標準装備されていますので、インストールは必要ありません。

仮想 PDF プリンターをインストールしておくことにより PDF として保存（出力）することができます。

検索サイトで「仮想 pdf プリンター」などで検索していただくと無料の仮想 PDF プリンターがいくつか検索されますので、目的にあったソフトをインストールしてください。

**3.** 診断を行ない診断結果を保存します。

**4.** 診断機本体をパソコンに接続します。

**5.** 手順書を参考に PDF ファイルを作成してください。

## ■重要■

印刷時に仮想 PDF プリンターで出力することにより、PDF として保存（出力）できます。  
仮想 PDF プリンターがインストールされていないパソコンをご使用の場合は、  
検索サイトで「仮想 pdf プリンター」などで検索していただくと無料の仮想 PDF プリンターがいくつか  
検索されますので、目的にあったソフトを事前にインストールしてください。

## 診断レポート印刷イメージ

### 【愛車診断レポート】

お客様名：〇〇 〇〇	車種：〇〇〇
メーカー：〇〇〇	車台番号：XXXXXXXXXX
登録番号：〇〇 〇〇〇 〇 〇〇-〇〇	診断日：2018/07/24
車両型式：XXX-XXXXX	

#### 診断結果：

システム	故障コード	内容
エンジン	29EB00	EGR 冷却、妥当性：排ガス再循環クーラー バイパス フラップの故障、またはクーラー効率低下
フューエルポンプ	なし	
トランスミッション	なし	
ギヤセレクタースイッチ	なし	
ABS/DSC	なし	
電動パワステ	なし	
統合シャーン	482791	予測アシスタント：ナビゲーション データに異常あり
	D014F6	KOMBI インターフェース(走行距離/走行可能距離、276.48)：信号は無効
	D016E1	メーター パネル インターフェース (走行ダイナミクス表示ステータス、97.12)：信号は無効
エアバッグ	なし	
インストルメント	なし	
A/C	なし	
アラウンドビューカメラ	CAACO1	KOMBI インターフェース(走行距離/航続距離、0x330)：信号が無効
カメラアシスト	なし	
FEM	8040B7	ターミナル 15 のオフ：始動性能上限値に達した
	8040B9	ターミナル 30B のオフ：始動性能上限値に達した
FEM	なし	
運転席シート	なし	
タッチボックス	なし	
コントローラー	なし	
OC/HU+H	なし	
ビデオモジュール	なし	
TCB	なし	
ゲートウェイ	なし	

### 車両情報

診断日は診断機本体設定の日付が反映されます。  
レポート作成前に必ず確認してください。

### 診断結果

#### 〇〇自動車

担当者：〇〇 〇〇  
〒XXXX-XXXX  
〇〇県〇〇市〇〇町XX-X  
TEL：XXX-XXX-XXXX / FAX：XXX-XXX-XXXX  
メール：XXX@XXX.XXX  
使用テスト：FA1 31-000000

### 自社情報

# 1. 基本操作

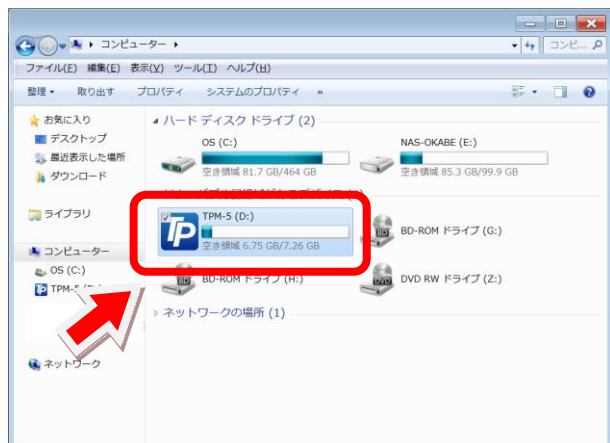


「DiagPrintout」ソフトは本体内の「DiagPrintout」フォルダに収録されております。

## 1 DiagPrintout の起動

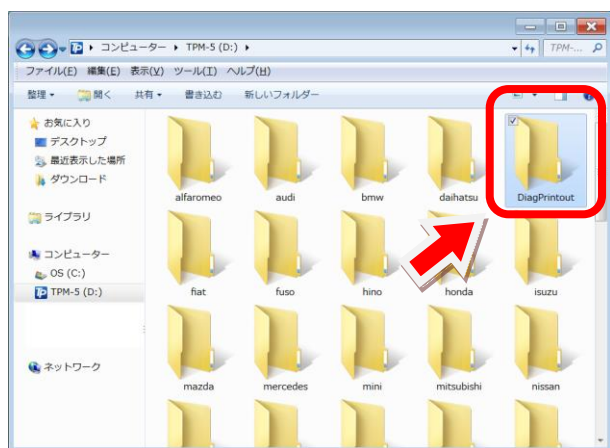
### 1.

本体をパソコンに接続して「TPM-5」（ドライブ）をダブルクリックします。



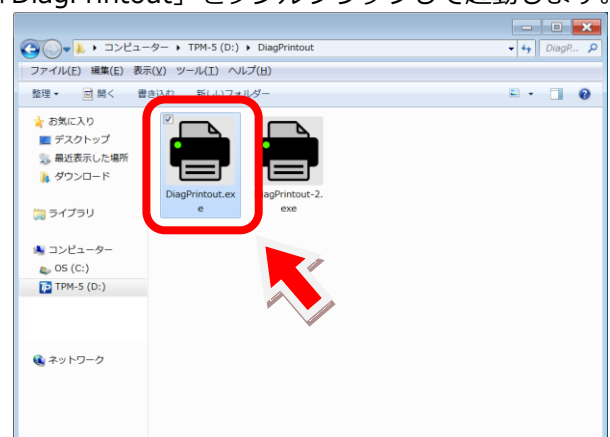
### 2.

「DiagPrintout」をダブルクリックして開きます。



### 3.

「DiagPrintout」をダブルクリックして起動します。



## 4.

ホーム画面が表示されます。



## 2 自社情報登録

### 1.

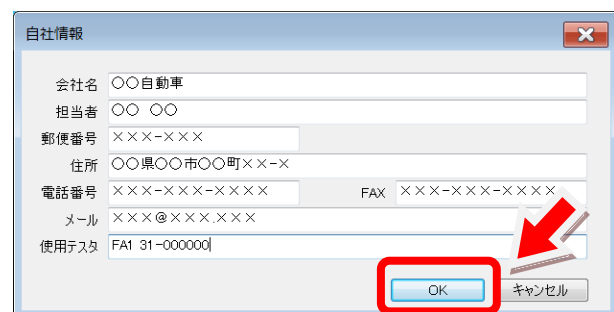
「自社情報」をクリックします。



### 2.

入力欄に必要事項を入力して「OK」をクリックします。

※ファイル名 Companyinfo.cix で保存されます。  
※「使用テスト」欄には交付申請時のコード番号や  
本体シリアル番号を入力してください。



### 3 車両情報登録

1.  
車両情報を入力します。

2.  
入力欄に必要事項を入力して「保存」をクリックします。

3.  
ファイルの保存先は任意の場所で問題ございません。本体内の「DiagPrintout」フォルダなど分かり易い場所を指定してください。

任意の**ファイル名**を入力して「保存」ボタンを押して保存します。

※「ファイル名.vix」ファイルで保存されます。

### 4 診断ファイルの選択

1.  
「診断ファイル」の右端のボタンをクリックして診断機で保存した診断ファイル（自己診断結果を保存した XML ファイル）を開きます。

2.  
「診断ファイル」は本体内の「Reports」フォルダに保存されている XML ファイルです。該当するファイルを選択して開きます。

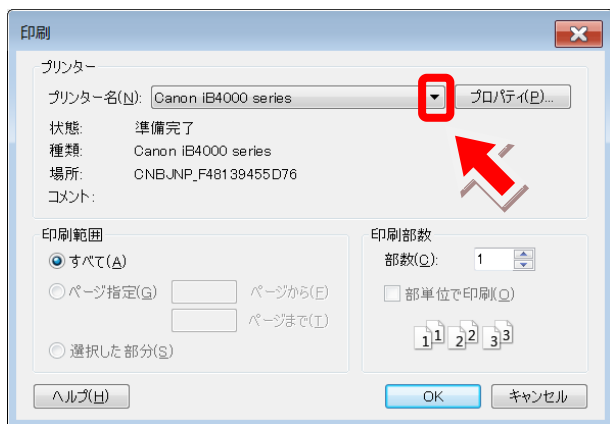
3.  
診断ファイルが読み込まれました。診断ファイルの内容は「診断レポート印刷イメージ」の診断結果に反映されます。「印刷」をクリックします。

## 1. 基本操作

### 4.

印刷ダイアログが表示されます。  
「プリンター名」のタブをクリックして事前にインストールされた pdf プリンターを選択し「OK」をクリックします。

(例：doPDF v7 の場合)



### 5.

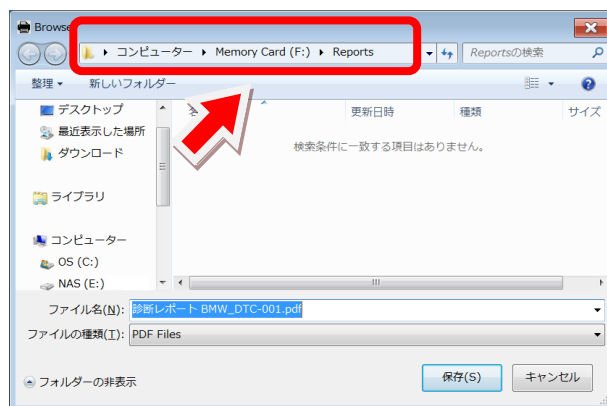
PDF ファイルの保存画面が表示されます。

通常は「ドキュメント」や「ダウンロード」などが保存先に指定されていますが、保存先を変更する場合は「参照」をクリックして保存先を指定します。



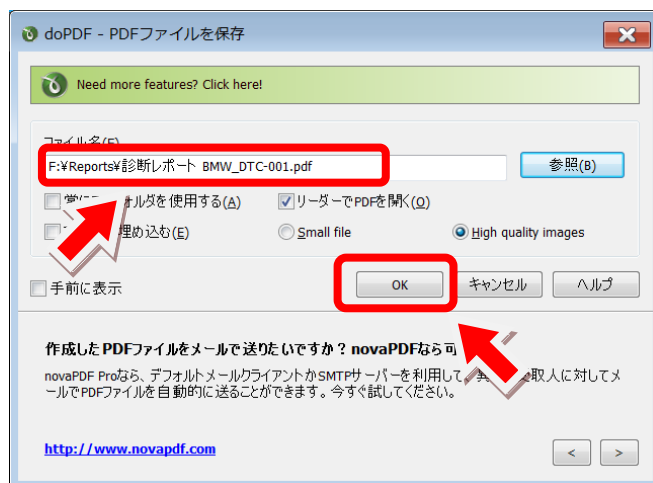
### 6.

保存場所、ファイル名を確認して「保存」ボタンをクリックします。



### 7.

手順 6 で指定した保存場所、ファイル名になっていることを確認して「OK」をクリックします。



### 8.

手順 6 で指定した保存場所に PDF 形式のファイルが保存されます。

